

【ご参考資料】

2013年11月28日

## 11月27日発表のブラジルの政策金利の引き上げについて

### 政策金利を9.5%から10.0%に引き上げ

2013年11月27日（現地時間）、ブラジル中央銀行は金融政策決定会合において、市場予想通り政策金利を0.5%引き上げ、年率10.0%とすることを全会一致で決定しました。同中銀は今年4月の金融政策決定会合以降、6会合連続で政策金利を引き上げており、利上げ幅は計2.75%となります。政策金利が10%台となるのは2012年3月以来で、約1年8ヵ月ぶりとなります。

### 依然として高水準にあるインフレの抑制が狙い

今回の決定の背景には、ブラジルリアル安や財政赤字の拡大などにより、インフレ圧力が高まっていることがあります。10月のインフレ率は5.84%と、今年7月以降、低下傾向にあるものの、依然として目標レンジの中間値である4.5%を上回っています。先日、トコンビニ総裁は、「金融政策当局者はインフレが景気回復を妨げる恐れがある場合には、物価上昇の抑制に向けた追加措置を講じる用意を整えておく必要がある」と表明しており、インフレに対する警戒感を緩めていないものと見られます。

しかし、今回発表された同中銀の声明からは、前回の声明における「今回の決定はインフレ率を低下させ、来年以降もこの傾向が続くことを確実なものにする」との文言が削除されており、今後の利上げペースの減速を示唆するものとの見方も、市場にはあります。

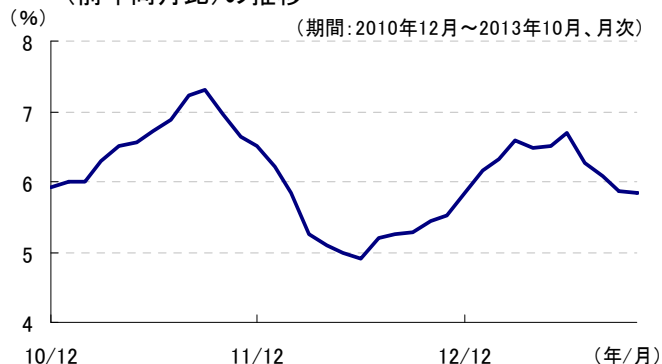
11月28日の外国為替市場では、日本時間9時現在、ブラジルリアルが対米ドルで前日比1.3%程度、対円で同0.9%程度のブラジルリアル安となっています。

次回の金融政策決定会合は2014年1月14-15日（政策発表は日本時間1月16日）の予定です。

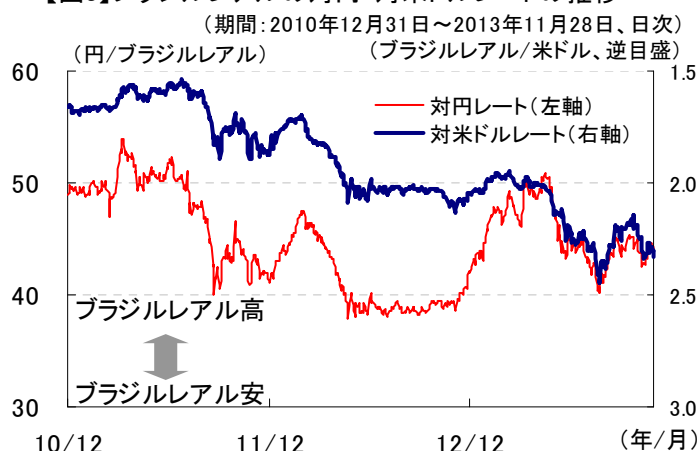
【図1】ブラジルの政策金利の推移



【図2】ブラジルのインフレ率(拡大消費者物価指数、IPCA) (前年同月比)の推移



【図3】ブラジルリアルの対円・対米ドルレートの推移



※2013年11月28日は日本時間9時頃の値

(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成